

# 高校生の組合せ指針

## 【団体戦の組合せについて】

- 県内の主要3大会において、団体戦に出場した各チームは直近の大会の結果に応じて次大会のシード権を得る。
- 主要3大会は、県春季・県総体・県新人とする。
- 詳細は以下のとおりとする。
  - ① ベスト8のチームは次大会で順位どおりのシードとなる。
  - ② ①以外のベスト16のチームは第9～16シードとして抽選する。
  - ③ 直近の大会でベスト16以上のチームが団体戦に出場できない場合、直近の大会で1勝以上しているチームより選出する。
  - ④ 1回戦で敗退したチーム及び団体戦の出場がなかったチームは、次大会ではシード下（8シードまで）を決定する抽選の対象となる。
  - ⑤ その他のチームはフリー抽選の対象となる。
  - ⑥ 初戦においては同地区での対戦を発生させない。

## 【個人戦の組合せについて】

- 大会成績に応じて得たポイントはシード順位を直接に決定するものではなく、シード抽選の対象となるための必要条件とする。
- 県内の主要4大会において、出場した各選手は結果に応じてポイントを得る。
- 主要4大会は、県春季・県総体・県ジュニア・県新人とする。
- ポイントは累積ではなく、直近の大会の結果をふまえたものとし、次大会のシードを決定する際には必要に応じて抽選を行い、組合せを作成する。
- 詳細は以下のとおりとする。

- ① 直近大会のポイントは以下のとおりとする。

シングルスポイント、ダブルスポイントを個人に付ける。このためダブルスでは、パートナーの変更によって点数が変動する。ただし直近の大会で出場せず、その前の大会でベスト8以上の実績がある選手には該当するポイントの半分の与える。また、ジュニア大会で獲得できるポイントは出場者数の関係でベスト16までとする。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位	21位	22位	23位	24位	25位	26位	27位	28位	29位	30位	31位	32位		
30点	25点	20点		15点					10点																								5点

- ② 第1～2シードは順位どおりのシードとして固定する。ただしダブルスで同ポイントの場合、
    - a) パートナーを変更していないペアを優先する。
    - b) 校内順位で上位を優先する。
  - ③ その他のシードでは順位の階層（3-4、5-8、9-16）ごとの抽選とする。同ポイントの場合には各校における校内順位で上位を優先する。
  - ④ 抽選における留意事項は以下のとおりとする。
    - ※ 同一校から複数のシード対象者がいる場合、エントリー数に応じて各ブロックに分ける。
    - ※ 抽選のやり直しや人数の偏りを避けるため、シードが多い学校から順に抽選を実施する。
    - ※ ポイントをベースに作業するので、赤本（各校1,2位の左右分けやペアの左右分け）を考慮しない。
    - ※ 第9～16のシードが満たされなかった場合、各地区大会の個人戦1位を充てる場合がある。
    - ※ シード下については、
      - a) 学校の下位者が入ることとする。
      - b) 偏りが無いようにする。（同じ学校の選手が多く入らないようにする）
- ※ 初回戦の同地区対戦は避ける。

## 【大会運営について】

- ① 団体戦においては、全ての大会で3位決定戦を実施する。
- ② 個人戦においては、県総体のみ3位決定戦を実施する。また、インターハイ出場の特典をかけた場合、県総体のみ第2代表決定戦を実施する場合がある。（決勝・3位決定戦の結果次第）